

いつも優しく

城西医療財団 菊の日

当財団では、毎年菊が咲き誇る11月の秋の日を「菊の日」と定め、一年を振り返って財団の運営に功績のあった職員はもとより、財団の発展にご尽力いただいた団体や地域の方々に対し、感謝の意を表し感謝状をお贈りしております。

本年度表彰された皆さんは、以下の2団体4名の方々です。

林 良一 様

「草月流 白馬教室」

栗田製菓

栗田 健志郎 様

「歌とお話の仲間」のみなさま

村松 聖也 様

佐藤 千枝子 様



城西医療財団 理念

私達は、病める人、障害を持つ人にいつも優しく、
最良の医療サービス及び福祉サービスを一体的に提供する。
また、心身の健康保持・増進を志向する人に最良の保健サービスを提供する。
利用者を身体的、精神的、社会的、そして倫理的に診療し、
科学的根拠に基づいた治療を行う。

2014年3月1日発行

●発行 社会医療法人 城西医療財団 〒390-8648 長野県松本市城西1-5-16 TEL 0263-33-6400 FAX 0263-33-9920
ホームページ <http://www.shironishi.or.jp>

●編集/発行者 広報文化委員会

就労継続支援B型事業所

‘S’ クリーンネス 「クリーニング料金表」

皆様のご利用を
お待ちしております



OPEN

ワイシャツ	105円～
セーター	399円
スカート	472円～
スラックス	525円
背広ジャケット	630円
ジャンパー	840円
毛布	840円～

など

営業時間

9:00～18:00

定休日

水・日・祝日

お店の場所

松本市城西1丁目9番21号
城西病院西側 メンタルセンター隣り

TEL 0263-33-5566

電子カルテ

2月1日より城西病院で電子カルテが稼働し、当法人の全施設が電子カルテ運用となりました。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、皆様へのサービス向上に一層努めて参りますので、御理解、御協力をお願い申し上げます。



小倉ホーム

グループホーム 「小倉ホーム」が、安曇野市三郷小倉のミサトピア小倉病院の東に2014年4月に新規開設致します。障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（略称「障害者総合支援法」）に基づく共同生活援助事業を行います。

精神に軽い障害のある人が入居できる全室個室2階建てのグループホームで、3人1ユニットの9名と9名1ユニットの計2棟で18名が共同生活できる住居です。世話人による食事の提供や健康管理面でのサポートを致します。日中は、デイケアや作業所への通所や就労支援事業を利用しながら、一般の人たちと同じような生活が送れます。

医療面は、ミサトピア小倉病院、ミサトピア小倉醫院でサポートをします。

（お問い合わせ先 ミサトピア小倉病院（0263-76-5500）堀崎もしくは樋口まで）

おかわのご寄附を頂きました！

セントラルフーズ株式会社様より城西病院に「信濃の国 長寿のおかわ」のご寄附を頂きました。誌面をお借りしまして厚くお礼申し上げます。





新年のご挨拶

城西医療財団

理事長・総長 関 健



新年あけましておめでとうございます。

旧年中はお世話になりました。皆さんの日常のご協力に対し心より感謝申し上げます。

さて、今年は甲（きのえ）馬、昭和29年生まれの方が60歳の還暦を迎える年であります。

我が国の伝統的な歳の数え方からすれば、すでに元旦で60歳となったことになります。人々は人生を一巡（めぐ）りし、新たな人生を始めるわけですが、老いは急速にやって参ります。私も5年前に還暦を迎えたのですが、一年一年歩みがきつくなってきているように実感しています。

平成26年の事業は、進捗しております。ミサトピア小倉病院は、グループホーム2ユニットを建築中であり、この春3月には竣工いたします。精神障害者の自立支援・地域生活支援と高齢の精神障害者就中（なかんずく）認知症高齢者の地域生活支援のための施設です。小倉病院の役割はこれで鮮明になってくると思われます。すでにある城西・豊科の在宅支援機能に劣らない機能の充実が望まれるところであります。殊に、かねがね私が提案主張している認知症の“デイホスピタル”の実現に向けて、具体的な試みを始めようと思います。簡単に言えば“デイホスピタル”とは、昼間の12時間を病院で過ごし、夜間の12時間を家庭で過ごすものです。朝7時（乃至8時）に家族が対象者を病院に連れてきて、夜7時（乃至8時）に家族が迎えに来るというコンセプトです。病院で3食を取り入浴も致します。

午前中は、合併する身体疾患を含め、集中的な専門的治療・リハビリテーションを行い、午後は、入浴を含めた安らぎの時間を過ごし、人間力の回復を図ります。夜は家で家族との団欒を楽しみ、住み慣れたところで就眠するのです。これによって、家族との絆が失われることなく専門的な治療を受けることができ、一方、家族は介護負担から解放されます。昨年私は第18回日本デイケア学会を主催しましたが、今年は“デイホスピタル”の実現に向けて、厚労省、精神神経センター、国立保健医療科学院、日本デイケア学会、日本精神科病院協会、等に働きかけ、実現を図りたいと考えております。

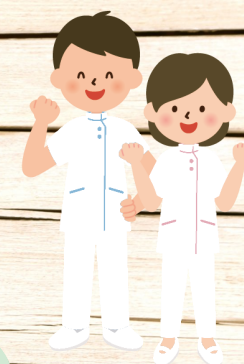
今年のもう一つの事業の柱は、小児科病棟の建設であります。春のオープンには間に合いませんでしたが、秋にはオープンし、重症心身障害児（者）の在宅医療支援機能を構築しようと考えております。また、この第9ビルは、医局機能の充実と職員の福利厚生にも資する機能を持っております。さらに、スタッフの充実を図って参ります。

医療と福祉の連携も今年のテーマです。6月に医療法の改正を控え、2025年に向けての蠕動（ぜんどう）が始まります。財団内の病院、診療所、老健、訪問看護ステーション、訪問介護ステーションなどがそれぞれの立ち位置を改めて確認し、社会福祉法人七つの鐘の諸事業と有機的に連携し、日本一のシステムを構築したいと考えます。

終わりに、今年は、懸案の敷地内禁煙の完全実施を4月に実現したいと考えております。職員各位の喫煙バスターに対する一丸となった取り組みをお願いいたします。

城西病院

理学療法部



今回は「城西病院 理学療法部」を紹介させていただきます。

最初に理学療法について説明すると、一般に言われているリハビリのひとつで（このほかに作業療法・言語療法があります）身体機能に主を置いたものが理学療法となり、理学療法を行う療法士（セラピスト）のことを理学療法士と呼びます。

主な対象疾患は脳卒中・神経疾患・整形疾患・呼吸器疾患・心疾患・代謝疾患等多岐に渡り、年齢も小児から高齢者まで全てが対象となります。我々理学療法士は各種疾患にあわせ医師の指示の基、医師・看護師・他職種と協力しながら患者さんに様々な運動を行い全身の筋力を付けたり、寝返り・起き上がり動作や歩行の獲得・手足の動きの再獲得・身の回りの補助具（杖やベッド等）の選定等を行います。

城西病院では13名の理学療法士が勤務しており、患者さんの社会復帰を願い日々リハビリに励んでいます。

当院では主に内科と整形外科疾患の、回復期から慢性期の高齢患者さんを対象に理学療法を行っています。

回復期リハビリテーション病棟というリハビリ専門病棟では、作業療法・言語療法と共に集中した365日リハビリを提供しています。このほかに来年度は、重症心身障害児の方のための小児科病棟も開設されるため、理学療法部として準備を進めています。

今後とも部内一丸となって患者さんとそのご家族の希望に添えるよう努力していきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

城西病院 理学療法士 横山大輔

